

南安城駅エレベーター

間もなく利用できます！

—実現に努力した宮川かねひこ議員—

8年前から繰り返し質問 名古屋鉄道にも出向き、要請



高齢の方から「買い物帰りなど、荷物を持つての階段は、とてもつらい」との声が宮川かねひこ議員に寄せられていました。

宮川議員は、2011年3月市議会で「ホームまでの階段が5段あり、早急なバリアフリー化が必要」と初めて一般質問。以来、5回の質問や市長宛の予算要望書で早期設置を求めてきました。

また、2009年7月には直接、名鉄に出向き、要請もしてきました。

2018年度予算にバリアフリー化に必要な補助金が計上され、現在、工事がすすめられています。4月から利用できるよう予定です。

費用は、国と市・名鉄が3分の1ずつ負担。安城市の負担は約1億6000万円です。工事内容は、エレベーター2基、多目的トイレとホームのかさ上げです。

「ありがたい」「安心して電車に乗れます」と喜びの声

西尾市の病院に通院されている方は、「膝を痛めているので、改札までの階段を上り、一息ついてからホームまでの階段を上るけれど、とても難儀です。エレベーターができることは本当にうれしい。これで安心して電車に乗れます」「膝が悪く友達に迷惑をかけるので外出を控えていたが、これからは、いっしょに出かけられる。ありがたいことです」など、喜びの声が上がっています。

引き続きがんばります

市議会議員 宮川かねひこ



南安城駅のエレベーター設置は、初質問以来、8年かかりましたが、実現できて本当によかったと思っています。

これからも皆さんの声をまっすぐ市政に届けるため、全力でがんばります。

ご要望などお寄せ下さい。

民主安城

[発行] 日本共産党安城市委員会 TEL・FAX 75-2903
2019年3月号外 宮川かねひこ議員の活動を紹介します

日本共産党